

土と基礎

平成26年1月号 第62巻第1号

地盤工学会誌

特集

巨大地震と地盤工学

Large Earthquake and Geotechnical Engineering

- 編集委員長：木 幡 行 宏 副委員長：笹 倉 剛
- 企画・編集グループ：並 河 努（主査）
- 本号特集担当編集委員：渡 邊 康 司（主査）

石 丸 真	石 岡 賢 治	長 田 光 正	神 谷 浩 二
藤 井 紀 之	五十嵐ひろ子	金 澤 伸 一	秋 山 裕 紀
岡 田 加奈子			

- 講座委員長：奥 野 哲 夫 委員兼幹事：若 井 修 一・陶 山 雄 介

本号の編集にあたって

世界有数の地震国である我が国では、毎年のように震度6以上を観測する地震が発生しています。近年では、2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により甚大な被害を受け、物的、経済的な損失のみならず、多くの尊い人命が失われました。

巨大地震は突然襲ってきて甚大な被害をもたらし、時には大規模な津波や火災も誘発することになります。このため科学技術を結集した地震発生予知の試み、耐震・免震等のための研究や設計法の確立、法整備による地震に強い国土づくりが進められています。また、ハード面はもちろんのこと、被害を最小限に抑えるためには、住民レベルへの防災教育や訓練、迅速な復旧のための体制づくりなどのソフト面も重要となります。

本号では、「巨大地震と地盤工学」と題した特集を企画致しました。東北地方太平洋沖地震から3年が経過しようとしており、改めて巨大地震と地盤工学の係わりについて考える機会を提供できればと思います。総説として、巨大地震における沿岸域の広域複合地盤災害を、さらに、論説2編・報告5編、計7編の論文をいただくことができました。各論文の内容は、地震と津波の複合災害、巨大地震と耐震、大規模地震に対する強振動評価、東日本大震災の被害事例とその分析など多岐に渡ります。本特集により、巨大地震とそれに伴い生じる地盤工学的問題、最新の研究から得られた成果や今後の課題などの情報を得ることが可能となります。

末筆ながら、本号の特集が会員の皆様にとって有益なものとなることを願っております。

渡 邊 康 司（わたなべ こうじ）

地盤工学会のホームページ URL <https://www.jiban.or.jp/>

国際地盤工学会ホームページ <http://www.issmge.org/>

編集兼発行者：公益社団法人 地盤工学会